



平成30年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月7日

上場会社名 株式会社CSSホールディングス
 コード番号 2304 URL <http://www.css-holdings.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林田 喜一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 岩崎 善彦

TEL 03-6661-7840

四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	12,838	0.8	230	2.1	239	2.2	128	13.7
29年9月期第3四半期	12,739	8.5	225	52.3	245	45.2	148	54.1

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 161百万円 (18.9%) 29年9月期第3四半期 199百万円 (32.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	25.48	25.25
29年9月期第3四半期	29.52	29.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第3四半期	7,325	2,825	38.6
29年9月期	6,675	2,715	40.7

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 2,825百万円 29年9月期 2,715百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期		0.00		10.00	10.00
30年9月期		0.00			
30年9月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,477	3.4	283	7.9	300	3.0	174	14.8	34.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期3Q	5,285,600 株	29年9月期	5,285,600 株
期末自己株式数	30年9月期3Q	240,165 株	29年9月期	240,865 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期3Q	5,044,894 株	29年9月期3Q	5,044,735 株

期末自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式(平成30年9月期3Q 154,800株、平成29年9月期3Q 155,500株)が含まれております。また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(平成30年9月期3Q 154,800株、平成29年9月期3Q 155,500株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

現時点における当期の連結業績予想は、平成29年11月14日に公表したもから変更はありません。(当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、所得の回復、個人消費の持ち直し、堅調な企業収益により景気は回復基調が持続しています。先行きについては底固い内外需を背景として景気回復が続く見通しですが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

当社グループの主要顧客であるホテルにおいては、東京・大阪の主要ホテルを中心に高稼働が継続しています。商業施設については、百貨店を中心に旗艦店において業績は回復基調にあります。金融機関においては、収益性を高めるべく、店舗の統廃合の計画や業務の効率化などの具体的なリストラ施策が進んでいます。高齢者福祉施設においては、マーケットの拡大を背景として個人向け食材販売大手が施設向け販売に参入しており競争が激しくなっています。

このような環境下にあつて当社グループは、お客様のニーズを的確にとらえ、商品の充実とサービスの品質維持に努めることで、売上及び営業利益については前年を上回ることとなりましたが、経常利益については前年を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は12,838百万円（前年同期比0.8%増）、連結営業利益は230百万円（前年同期比2.1%増）、連結経常利益は239百万円（前年同期比2.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は128百万円（前年同期比13.7%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績の業況は以下のとおりです。

① スチュワード事業

当事業は、ホテル・レストランを中心として食器洗浄及び管理業務を全国展開する当社グループの中核事業であり、株式会社セントラルサービスシステム(C S S)が独立してひとつのセグメントを構成します。

当第3四半期連結累計期間においては、既存事業所の売上が比較的堅調に推移したことに加え、新規案件3件を受託、上期までの5件に加えて8件が稼働することで、前年を上回る売上を確保することができました。費用面においては、最低賃金の上昇、時間外労働の増加、新規開業を控えてのイニシャルコストの増加等の影響で利益については前年には及びませんでした。

この結果、売上高は5,120百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は204百万円（前年同期比14.0%減）となりました。

② フードサービス事業

当事業は、従業員食堂及びレストラン運営の受託を展開する株式会社センダン(S D N)と食材販売及び受託給食を展開するヤマト食品株式会社(Y M T)からなり、フードサービス事業としてひとつのセグメントを構成いたします。

当第3四半期連結累計期間においては、食材販売を中心として失注が受注を上回る状況が続き、売上についてセグメント全体で前年を下回ることとなりました。費用面においては、これまでの原価のコントロール施策の成果が出たことで、原価率は安定した水準となったものの、食材販売において売上の減少により固定費の負担が大きくなったことからセグメント全体としては損失計上を余儀なくされました。

この結果、売上高は3,873百万円（前年同期比1.7%減）、営業損失は65百万円（前年同期は営業損失26百万円）となりました。

③ 空間プロデュース事業

当事業は、東洋メディアリンクス株式会社(T M L)、音響特機株式会社(O T K)からなり、映像・音響・放送・セキュリティに関する設計・販売・施工・管理・メンテナンスまでを全て可能とする空間プロデュース事業として、ひとつのセグメントを構成いたします。

当第3四半期連結累計期間においては、既存顧客に加え、幅広い顧客への販売を展開したことで、売上の基礎は積み上がったものの、一部の売上計上が先送りとなった影響もありほぼ前年並みの売上となりました。費用面においては、利益率の高い件名の割合が高く、粗利率が前年以上で推移したことに加え、販売管理費の効率的執行ができたことから利益については前年を大きく上回ることとなりました。

この結果、売上高は3,824百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は73百万円（前年同期は営業損失9百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度に対し、650百万円の増加により7,325百万円となりました。その主因は、現金及び預金の増加419百万円、仕掛品の増加136百万円などによるものであります。

負債の部は、前連結会計年度に対し、540百万円の増加により4,500百万円となりました。その主因は、短期借入金
金の増加450百万円などによるものであります。

純資産は、110百万円増加し、2,825百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における当期の連結業績予想は、平成29年11月14日に公表したのから変更はありません。（当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。）

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,088,039	1,507,411
受取手形及び売掛金	1,931,355	1,931,618
商品及び製品	372,986	414,130
仕掛品	26,186	162,751
原材料及び貯蔵品	38,274	47,216
繰延税金資産	88,962	90,560
その他	169,550	75,276
貸倒引当金	△4,260	△3,427
流動資産合計	3,711,093	4,225,538
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,010,668	1,120,386
減価償却累計額	△527,387	△552,099
建物及び構築物 (純額)	483,281	568,287
土地	1,233,838	1,233,838
その他	169,142	187,556
減価償却累計額	△124,724	△137,488
その他 (純額)	44,417	50,067
有形固定資産合計	1,761,538	1,852,194
無形固定資産		
のれん	112,711	100,329
その他	93,576	100,526
無形固定資産合計	206,287	200,855
投資その他の資産		
投資有価証券	612,930	666,211
その他	383,257	381,024
投資その他の資産合計	996,188	1,047,236
固定資産合計	2,964,013	3,100,286
資産合計	6,675,107	7,325,824

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	568,103	622,122
短期借入金	650,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	221,290	190,000
未払金	739,828	869,790
未払法人税等	26,968	67,630
賞与引当金	150,653	87,792
その他	392,695	472,920
流動負債合計	2,749,540	3,410,256
固定負債		
長期借入金	865,000	695,000
繰延税金負債	4,961	8,535
退職給付に係る負債	263,567	281,235
株式給付引当金	16,214	15,883
長期未払金	22,544	22,544
資産除去債務	9,319	9,464
その他	28,766	57,504
固定負債合計	1,210,374	1,090,166
負債合計	3,959,914	4,500,423
純資産の部		
株主資本		
資本金	393,562	393,562
資本剰余金	279,306	279,306
利益剰余金	2,017,628	2,094,175
自己株式	△99,799	△99,506
株主資本合計	2,590,698	2,667,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124,494	157,862
その他の包括利益累計額合計	124,494	157,862
純資産合計	2,715,192	2,825,401
負債純資産合計	6,675,107	7,325,824

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	12,739,157	12,838,861
売上原価	10,497,424	10,545,887
売上総利益	2,241,733	2,292,973
販売費及び一般管理費	2,016,313	2,062,769
営業利益	225,420	230,203
営業外収益		
受取利息	976	1,091
受取配当金	6,041	6,738
受取賃貸料	13,342	13,952
投資事業組合運用益	1,312	—
その他	30,404	18,621
営業外収益合計	52,078	40,403
営業外費用		
支払利息	25,013	21,759
支払手数料	2,407	2,341
為替差損	3,252	195
その他	1,772	6,642
営業外費用合計	32,446	30,939
経常利益	245,052	239,667
特別利益		
固定資産売却益	1,398	45
受取補償金	—	3,750
特別利益合計	1,398	3,795
特別損失		
固定資産除却損	3,903	147
特別損失合計	3,903	147
税金等調整前四半期純利益	242,547	243,315
法人税、住民税及び事業税	70,924	123,168
法人税等調整額	22,683	△8,401
法人税等合計	93,608	114,766
四半期純利益	148,938	128,549
親会社株主に帰属する四半期純利益	148,938	128,549

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	148,938	128,549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50,779	33,368
その他の包括利益合計	50,779	33,368
四半期包括利益	199,718	161,917
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	199,718	161,917

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	スチュワード 事業	フード サービス 事業	空間 プロデュース 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	4,971,856	3,940,476	3,803,544	12,715,877	23,280	12,739,157	—	12,739,157
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	900	1,326	12,576	14,803	208,366	223,169	△223,169	—
計	4,972,756	3,941,802	3,816,121	12,730,680	231,646	12,962,327	△223,169	12,739,157
セグメント利益 又は損失(△)	237,674	△26,764	△9,050	201,858	16,623	218,481	6,938	225,420

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、総務・人事・経理管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額6,938千円は、全社利益及びセグメント間取引消去等の額によるものであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	スチュワード 事業	フード サービス 事業	空間 プロデュース 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	5,119,391	3,873,124	3,820,476	12,812,992	25,868	12,838,861	—	12,838,861
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	900	186	3,643	4,730	218,259	222,989	△222,989	—
計	5,120,291	3,873,310	3,824,119	12,817,722	244,127	13,061,850	△222,989	12,838,861
セグメント利益 又は損失(△)	204,296	△65,558	73,948	212,686	15,689	228,376	1,826	230,203

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、総務・人事・経理管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額1,826千円は、全社利益及びセグメント間取引消去等の額によるものであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、経営上の意思決定を行う区分を基礎とするマネジメント・アプローチをさらに徹底するため、第1四半期連結会計期間より、セグメント区分を変更しております。

これにより、従来、「スチュワード管理事業」としていたセグメント区分を「スチュワード事業」へ、「総合給食事業」及び「食材販売事業」を「フードサービス事業」へ、さらに、「音響・放送機器等販売事業」及び「映像・音響機器等販売施工事業」を「空間プロデュース事業」へと変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間の売上高及びセグメント利益又は損失を当年度の表示に合わせて組替再表示しております。